

【福祉自治体ユニットとは】

福祉行政をリードする市区町村長による自治体連合

一般社団法人福祉自治体ユニット

1997年福祉自治体ユニットは、地方自治の「試金石」と位置づけられた介護保険制度を出発点として、地域包括ケアシステムの構築や、新しい福祉産業と地域振興の発展を目標に市区町村長有志によって設立されました。

介護保険制度は導入以来、介護サービスの急速な拡大を実現し、高齢者やその家族にとって、なくてはならない制度として定着しています。しかし、介護費用の急増に伴い介護保険料が月5000円(全国平均)にのぼるなど、制度の持続的・安定的な運営にさまざまな課題があります。

福祉自治体ユニットは、介護・医療をはじめ障害・子育て・貧困等社会保障全般に研鑽を積み「わがまちの福祉行政」に取り組んでいますが、生活保障に直接関わる基礎自治体の責任はますます重くなってきています。

また一方では、加速的に進行する少子化に伴う「人口減少」という厳しい現実に向き合い、一刻も早く有効な対策を講じていかなければならない状況にあります。

こうした現状を踏まえ、福祉自治体ユニット首長は、今一度、各制度をめぐる動向や課題についての最新情報や問題意識を共有し、自治体における事業運営を一層推進するとともに、国に対する積極的な政策提言を行なっていきます。

生活保障制度の持続的・安定的な運用と「人口減少」問題へ向けて、新たな地域再生への対策を早急に講じるために基礎自治体の力を結集し、その機能と影響力を最大限発揮していくことを目指します。

平成25年12月26日
福祉自治体ユニット首長一同